

セルコムデジ(CELC)

Digi.com とセルコム・アジアタ統合シナジー効果継続。
最先端 AI 体験センター(AiX)が今後の成長ドライバー
マレーシア | 無線通信 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG CDB:MK | REUTERS CELC.KL

- 2024/12期3Q (7-9月) は、サービス収入が前年同期比0.9%減、EBITが同10.9%増。合計加入者数減で減収も売上高総費用比率が改善した。
- 2022年11月末に完了したDigi.comとセルコム・アジアタの統合に伴うシナジー効果が計画超え。2027年度まで累計80億MYRを見込む。
- 昨年7月に最先端AI (人工知能) 体験をワンストップ提供するAI体験センター (AiX) をローンチ。今後の成長への原動力として期待される。

What is the news?

11/18発表の2024/12期3Q (7-9月) は、サービス収入が前年同期比0.9%減の26.89億MYR、EBIT (利払い前・税引き前利益) が同10.9%増の7.71億MYR、純利益が同4.1%減の4.40億MYRだった。1ユーザー当たり平均収益 (ARPU) は同2.5%増と底堅く推移したものの、9月末合計加入者数が同34万6千人減の2025万人となったことが響き減収となった。5G関連や光ファイバーへの投資に伴い売上原価が増加も、コスト効率化と合併シナジー効果に伴う営業費用減少、および減価償却費の減少の貢献により売上高総費用率が同2.3ポイント低下の75.4%となったことが利益面で寄与した。前四半期比では、サービス収入が0.2%減、純利益が5.8%増、9月末合計加入者数が3万人増だった。

3Qのセグメント別売上高は以下の通り。①後払いのポストペイド収入が前年同期比3.4%増の10.46億MYR (加入者数が同7.1%増の571万人)、②前払いのプリペイド収入が同4.4%減の10.96億MYR (加入者数が同5.7%減の1283万人)、③家庭光ファイバー収入が同37.6%増の49百万MYR (加入者数が同55.9%増の15.9万人)、④エンタープライズ向け収入が同3.3%減の2.95億MYR。うち ICT&コネクティビティが同2%増の55百万MYRと堅調に推移も、主力のモバイルが同5%減の2.30億MYRとなった。

How do we view this?

2024/12通期会社見通しは、通信サービス収入を従来計画の前期比1桁前半の増収率から同横ばい~やや減少へ下方修正 (1-9月実績:0.6%減)。一方で、売上高設備投資比率が15-18% (同:13.0%)、組織再編に伴う一時的費用を含むEBIT (利払い前税引き前利益) が同1桁台の減益率 (同:5.8%増) と従来計画を据え置いた。

2022年11月末にDigi.comとアジアタ・グループ子会社 (セルコム・アジアタ) との統合が完了し、2千万人以上の消費者および企業の加入者数を擁するマレーシア最大手となった。コスト削減による利益率向上など、統合のシナジー効果はグロス額で2024年度通期7.00億MYRとしていた計画のペースを上回る見通し。2027年度までに累計80億MYRのネット現在価値を新たに目標としている。また、昨年7月にローンチした最先端のAI (人工知能) 体験をワンストップで提供するAI体験センター (AiX) を通じたエンタープライズ収入の伸びが今後の成長の鍵を握りそうだ。

業績推移

※参考レート 1MYR=34.78円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12F	2025/12F
売上高 (百万MYR)	6,335	6,773	12,682	12,857	13,030
当期利益 (百万MYR)	1,162	848	1,566	1,738	2,056
EPS (MYR)	0.15	0.10	0.13	0.15	0.18
PER (倍)	26.27	37.42	30.25	24.13	20.78
BPS (MYR)	0.08	1.39	1.39	1.42	1.44
PBR (倍)	49.25	2.69	2.83	2.55	2.60
配当 (MYR)	0.15	0.12	0.13	0.13	0.15
配当利回り (%)	3.81	3.21	3.31	3.59	4.01

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR) 0.13 (予想はBloomberg)
終値 (MYR) 3.74 2025/1/20

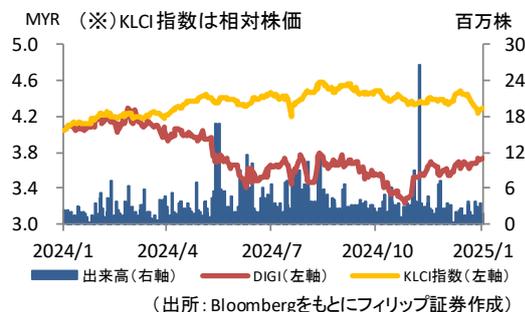
会社概要

ノルウェーに本社を持つグローバルテレコミュニケーションプロバイダーのテレノール・グループだった「デジ・ドットコム」と、マレーシアの通信グループであるアジアタ・グループのマレーシア子会社だった「セルコム」の2つの携帯通信事業者が2022年11月に統合して設立。

テレノールとアジアタ・グループがそれぞれ33.1%保有。2千万人以上の消費者および企業の加入者件数を擁するマレーシア最大手となった。

企業データ (2025/1/21)

ベータ値 1.08
時価総額 (百万MYR) 43,759
企業価値=EV (百万MYR) 56,254
3ヵ月平均売買代金 (百万MYR) 11.7



主要株主 (2025/1)

(%)
1. テレノール 33.10
2. アジアタ・グループ 33.10
3. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD 10.51
(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。